

## ■□要旨■□

### 1.スマートグリッドの推進

「オバマ新政権が掲げたグリーンニューディール政策の1つスマートグリッドは日本でも実現しなくてはならない。10年後、日本にスマートグリッドがなかったらグーグル社員は困ることになる。」スマートグリッドを推進するグーグル本社より、日本の政界、財界、学会へ働きかけるよう依頼される。

### 2.スマートグリッドとは？

スマートグリッドとは電力網と情報網を束ねたもの。電力網がネットの助けを受け賢くなる。電源のある機器は全てネットにつながっていく。スマートグリッドはIOT(インターネット・オブ・シングス)とも呼ぶ。

### 3.まずは消費電力の見える化から

無線LAN・有線LANのインターフェースを備えたスマートメータ(電力会社が設置)やHEMS(自主設置)を設置して、消費電力の見える化が必要。HEMSを購入すれば国から補助金が出る。

### 4.スマートグリッドが切り開く未来

まずは「電力の見える化」、次に「デマンドレスポンス(消費電力のコントロール)」、次は「見守り?」、その次は?ぜひ日本からグローバルに活躍する企業が出てくることを期待する。

### 5.ビッグデータ2.0時代

スマートグリッドから得られるビッグデータ。構文解析から意味解析へ進化させるのは人工知能。ビッグデータから価値を生み出し、新産業の創出や社会課題の解決に。

### 6.英会話は筋トレと同じ

英会話は筋トレと同じである。ひたすら聞くことが大事。勉強するときはテキストを見ないこと。内容を記憶してしまうから。まずはコンパで話すような自己紹介を英借文(英作文ではない)して作ってみると良い。

### 7.海外にチャレンジ

優秀な高校生は東大ではなくハーバード大を選ぶ時代。日本人は米国に行けば実際の年齢より10歳若く見られる。18歳なら8歳だ。恥ずかしがらずにチャレンジして良い。英会話ができなければ稼げなくなるのはもう間近。

## ■□今回の学び ひとことという■□

モノがスマート化していく今はまさにインターネット普及前の1993年と同じ状況。グーグルもYAHOOもまだ思いついていない時代。どんな業種であっても、暮らしが変わればビジネスも変わる。そのような時代を目前として、どんな準備をしておくべきか考えておく必要がある。



■□感想■ googleという巨大グローバル企業の日本法人トップなどを歴任し、経営から退いた今もなお、日本の未来を考え、国を動かす重要なポジションで仕事に従事されているお話には感服しました。IOT、ビッグデータの活用とトレードオフの関係にあるプライバシーについては、「自分の良いところも悪いところも知っている執事と思えば良い。すべてを知った上で影武者のように付き添ってくれるモノと考えれば良い」というお言葉が印象的でした。